

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業振興センター

「稲作情報（第4号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第4号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

アメダス観測値（白石）

月	半月	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R4 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R4 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R4 (hr)	平年比 (%)
5月	1	17.6	17.0	-0.6	23.8	23.6	-0.2	12.0	10.3	-1.7	27.2	0.0	0	30.9	48.9	158
	2	18.3	19.7	1.4	24.5	25.2	0.7	12.8	15.3	2.5	29.3	1.0	3	30.5	21.6	71
	3	18.8	19.6	0.8	25.0	23.0	-2.0	13.3	16.6	3.3	29.9	50.5	169	30.5	9.1	30
	4	19.5	19.3	-0.2	25.7	25.7	0.0	14.0	13.5	-0.5	25.1	0.0	0	30.7	31.4	102
	5	20.2			26.5			14.7			19.6			30.6		
	6	20.9			27.1			15.6			22.6			34.5		

○5月4半月の平均気温は、平年に比べて0.2°Cほど低く推移した。また、降雨もなく多照傾向となった。

◀福岡管区気象台の1か月天気予報（5月19日発表）（予報期間 5月21日から6月20日まで）

向こう1カ月の気温はほぼ平年並ですが、2週目意向は暖かい空気に覆われやすいため平年並か高いでしょう。

前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1カ月の降雨量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないでしょう。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：5月22日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本/m ²	主 稈 出葉数 L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本 年 値	41.2	493	10.0	45.8	<ul style="list-style-type: none"> 草丈および茎数は平年並み。 1株あたり茎数28~30本程度 主稈出葉数は、0.1葉多い。 葉色は濃い。
	平 年 値	42.2	495	9.9	44.1	
	平年比（差）	98	100	+0.1	+1.7	

※ 平年値は、H21~R3年度の平均値、耕種概要は稲作情報NO1参照

（管内の生育状況）

○現在、分けつ発生盛期である。有効茎を確保し、中干しの時期となっている。
まもなく穂首分化期頃をむかえる。

3. 今後の管理（七タコシヒカリ）

（1）水管理

○現在、中干しの時期である。

本年は、初期分けつ確保が順調でしたので大半の圃場では、1株あたり20本茎数を確保している。

今後、断続的な降雨により中干し作業が遅れないように注意する。

○中干しの実施時期の目安

→総葉数の7割～8割の葉が出た時の間、10葉期頃を中心に行う。

止葉までの葉数の69%～77%の葉が出た時期であり、七タコシヒカリでは9葉～10葉期にあたり、現在(5/22時点)がその生育ステージにあたる。

ほぼ有効分けつ決定期(株当たり小さい分けつまで20本)～穂首分化期(穂の基が茎の中で出来る時)である。

また、開始時期の目安は、移植時期によって異なるが、有効茎(1株あたり20本程度の分けつ)が確保でき、株が開張しておおむね草丈が35～50cmを目途に実施する。

○中干しの期間と程度(強弱)

中干し期間は、天候や土壌の種類、漏水の程度などによってちがってくるが、おおむね5～7日とする。

圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいとする。

つまり「歩いて足跡が付くが、抵抗なく歩ける硬さ」が理想である。

また、手のひらが縦にはいるようなヒビ(強い中干し)は、強い断根を伴い稲にとってダメージが大きくなるので避ける。

(2) 病害虫防除

○補植用の『置き苗』は、葉いもち病の発生源になるため、すぐに除去する。

令和4年産 水稲作付期間気象図
アメダス観測値(白石)

